



11月うぶやま天文台星空情報 4

真夜中の月と 火星の接近



天空が広がる一覽三山の台(久住山系、祖母山系、阿蘇山系の山々を一望できる)である、うぶやまの高原には冬の足音が聞こえています。

晴れていれば肉眼で見える限界の6等星や、天の川まで見える素晴らしいうぶやまの星空を楽しみませんか。

11月のうぶやまの星空情報の4弾は、11月20日に火星と月が接金する天文現象です。

11月20日の夜遅く、東の空で下弦に向かって欠けつつある月の近くに、 -0.3 等級の火星が見えます。この後、日付が変わって21日の夜明けまで、月と火星は少しずつ距離を縮めながら動いて行きます。月と火星が最も接近するのは21日の朝、9時頃なので、最接近の前に空が明るくなり、火星は肉眼では見えなくなってしまいます。

今月は月初めから、月が金星、土星、木星、火星と、惑星のそばを次々に通り過ぎてきました。月の通り道である白道と、太陽や惑星の通り道である黄道が近いいため、このようなことが毎月起きています。しかし、季節によって背景に見える星も違うので、その時々色々な風情を楽しませてくれます。

【火星と月の接近】

